

Title	新しい演劇教育のデザイン：グローバル・シアターの構築を通じて
Sub Title	Designing a new performing arts education through constructing a global theater
Author	宮北, 剛己(Miyakita, Goki) 大川, 恵子(Okawa, Keiko)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2010
Jtitle	
Abstract	<p>演劇教育の有効性や必要性がいわれて久しいが、舞台芸術は、それがおこなわれる空間が限定的かつ一回性の芸術であることから、グローバルにリアルタイムに学ぶ環境は整っていない。そこで本研究では、世界中の学生が空間や距離といった物理的な制約に囚われずにリアルタイムに演劇を共有し、異文化に対する理解を深め、演劇を通してグローバルにコミュニケーションを取り合うことが可能な基盤として「グローバル・シアター」という演劇教育基盤を設計し、商業演劇を題材に実証実験をおこなった。</p> <p>グローバル・シアターは、演劇を通じた学習が可能な「プログラム」、大学と劇場、劇団とが協働する「コミュニティ」、リアルタイムでの演劇鑑賞を実現する「プラットフォーム」の計3つの要件に基づいて構成され、ICTを活用した新しい演劇教育モデルとして機能する。本研究では、翻訳劇および国際共同制作劇における実証実験を通じて、プログラム・コミュニティ・プラットフォームの3要件に対する評価・考察をおこない、新しい演劇教育としての有効性を検証した。</p>
Notes	
Genre	Thesis or Dissertation
URL	http://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002010-0114

KMD-80935620

2010年度 修士論文

新しい演劇教育のデザイン
—グローバル・シアターの構築を通じて—

宮北 剛己

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士(メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

宮北 剛己

指導教員：

大川 恵子 教授 (主指導教員)

中村 伊知哉 教授 (副指導教員)

審査委員：

大川 恵子 教授 (主査)

中村 伊知哉 教授 (副査)

加藤 朗 教授 (副査)

新しい演劇教育のデザイン

—グローバル・シアターの構築を通じて—

内容梗概

演劇教育の有効性や必要性がいわれて久しいが、舞台芸術は、それがおこなわれる空間が限定的かつ一回性の芸術であることから、グローバルにリアルタイムに学ぶ環境は整っていない。

そこで本研究では、世界中の学生が空間や距離といった物理的な制約に囚われずにリアルタイムに演劇を共有し、異文化に対する理解を深め、演劇を通してグローバルにコミュニケーションを取り合うことが可能な基盤として「グローバル・シアター」という演劇教育基盤を設計し、商業演劇を題材に実証実験をおこなった。

グローバル・シアターは、演劇を通じた学習が可能な「プログラム」、大学と劇場、劇団とが協働する「コミュニティ」、リアルタイムでの演劇鑑賞を実現する「プラットフォーム」の計3つの要件に基づいて構成され、ICTを活用した新しい演劇教育モデルとして機能する。本研究では、翻訳劇および国際共同制作劇における実証実験を通じて、プログラム・コミュニティ・プラットフォームの3要件に対する評価・考察をおこない、新しい演劇教育としての有効性を検証した。

キーワード

舞台芸術, 演劇教育, 遠隔教育, ICT, グローバル・シアター

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

宮北 剛己

Designing A New Performing Arts Education Through Constructing A Global Theater

Abstract

Although the necessity of performing arts education has been emphasized for a long time, a global scale and real-time learning and teaching environment is still lacking. Therefore, this thesis proposes a new model of performing arts education that enables students to enjoy and share performing arts, deepen intercultural understanding and communicate with a global audience in real-time, regardless of location and distance, called *Global Theater*.

Global Theater is an ICT architect based performing arts education and it is designed with three main components: a learning program focused on performing arts, a collaborative community formed by University, Theater and Performing Group and a platform which enables real-time appreciation of performing arts.

Conducting two experiments of *Global Theater*, one in collaboration with an adapted play and another with an international co-production, this research investigated and evaluated the effectiveness of this new learning environment for performing arts from the perspective of the three components of this structure.

Keywords:

performing arts, performing arts education, remote education, ICT, global theater

Graduate School of Media Design, Keio University

Goki Miyakita